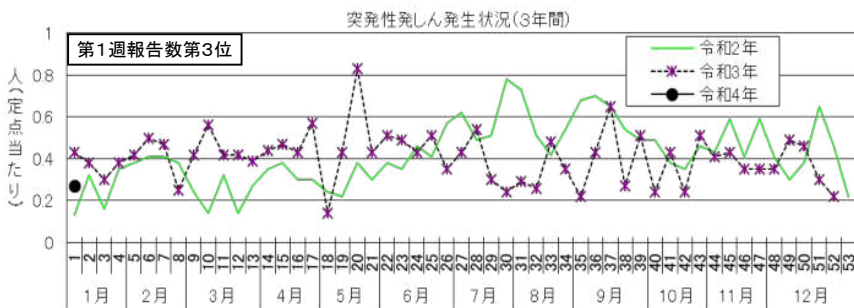
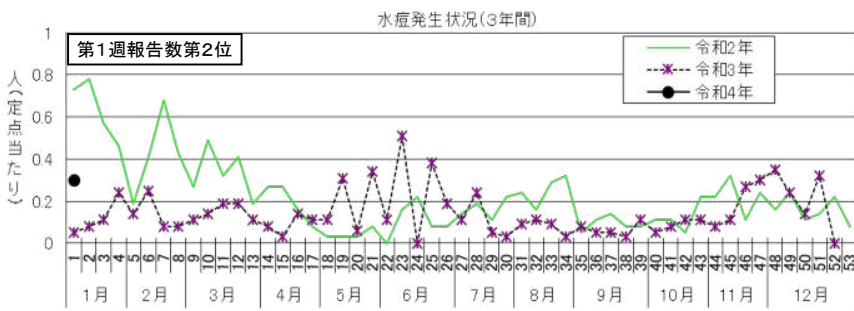
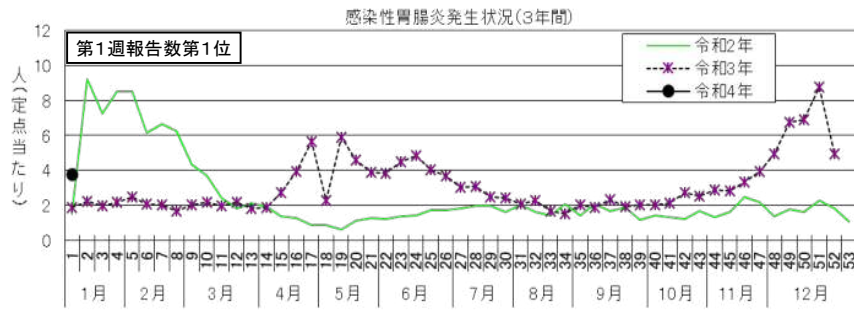


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年1月3日（月）～令和4年1月9日（日）〔令和4年第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）水痘 3）突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.78人と前週（4.94人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 水痘の定点当たり患者報告数は0.30人と前週（0.00人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.27人と前週（0.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

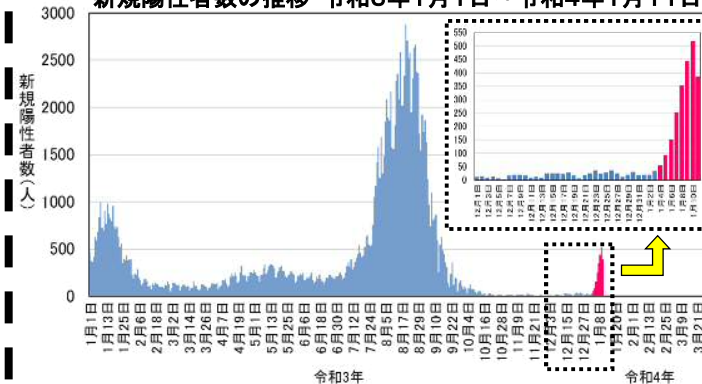


新型コロナウイルス感染症～オミクロン株の検出数が急増しています！～

現在、全国では、オミクロン株の検出数の増加とともに、新型コロナウイルス感染症の報告数が急増しています。神奈川県においても、年始以降の報告数が大幅に増加しています。

新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、神奈川県では令和4年1月6日から、オミクロン株陽性者は重症例を除き、宿泊施設又は自宅で療養していただくこととなりました。海外のいくつかのデータによると、オミクロン株は第5波の主流であったデルタ株と比べて、家庭内での二次感染率が概ね2倍程度高いことが報告されているため、自宅療養の際には感染者を可能な限り隔離した上で、同居者もマスクを着用するなどの予防対策が必要になります。

神奈川県における新型コロナウイルス感染症
新規陽性者数の推移-令和3年1月1日～令和4年1月11日-



自宅療養の際に注意するポイント

- ✓ 感染者の部屋を分ける
- ✓ 同居者もマスクを着用
- ✓ 定期的な換気
- ✓ こまめな手洗い、手指消毒
- ✓ 感染者の世話は限られた方で
- ✓ 汚れたシーツ、衣服などを洗濯
- ✓ 手で触れる共有部分を消毒
- ✓ ゴミは密閉して廃棄



厚生労働省「ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合
家庭内でご注意くださいこと～8つのポイント～」より

現時点では、ワクチン接種者*については、発症日（無
症状病原体保有者は検体採取日）から10日後に退院
又は療養解除となっています。

*我が国で承認されているワクチンを規定回数以上接種した
日から14日間以上経過している方

厚生労働省「データからわかる～新型コロナウイルス感染症情報～」より作成